

『投稿！わがまち自慢の一枚』

沖縄県うるま市

伊波 信也

広報の効果的実践 令和5年度6月修了

沖縄県うるま市は、「沖縄で闘牛が最も盛んなまち」として知られ、令和元年10月9日に「闘牛のまち宣言」をしております。数々の闘牛大会において、大勢の闘牛ファンがつめかけ賑わいをみせております。

表紙の「第118回 春の全島闘牛大会」は数十年に一度のビックカードが生まれ、会場に入りきれないほどの観戦者が集まりました。闘牛の迫力と観衆の興奮がダイナミックに伝わる一枚となっております。

沖縄県うるま市では、闘牛のほかにも各地域で永年培われてきたエイサーや獅子舞、ハーリーなど伝統芸能や文化活動が盛んであり、風光明媚な自然環境と、世界文化遺産の勝連城跡など貴重な歴史遺産や文化財からなる魅力あふれる地域となっております。

令和5年4月26日、うるま市は多くの人々を感動させる地域であり続けるために全国初となる「感動産業特区」宣言を行いました。沖縄・うるま地域の中高生が20万人を感動させた奇跡の舞台“現代版組踊「肝高の阿麻和利」”を感動産業特区アンバサダーとして認定し、その第一弾として令和5年8月にシティプロモーションとしての東京公演を開催しました。

「感動産業特区」のプロモーションムービーも掲載しておりますので、うるま市の魅力を体感してみてください。



「闘牛のまち」うるま市



「肝高の阿麻和利」公演
ダイジェスト動画



プロモーションムービー



※アカデミアでは、「広報の効果的実践」研修の修了生や自治体の広報担当者を対象に、キラリと光るふるさと自慢のフォトスナップを、表紙の写真として募集しています。詳しくは市町村アカデミー調査研究部043-276-3127までお問い合わせください。